

【会長挨拶】

丹治前会長の後任としての1年の任期が無事終わりに近づこうとしています。このことから、会長が東京にいらなくても電子メール等による遠隔操作で学会はなんとか運営していける、という結論が導けるなら幸いです。もっとも、私自身の経営能力は無に等しいため、この間大きな破綻がなかったのは、実働部隊である事務局の方々の献身的な尽力のおかげです。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

あと2年間続投することになりましたので(再度 *Oh, God!* と叫びたいところですが、考えてみればあの映画には *Oh, God! Book II* という続編があったのでした)、法人組織としての英文学会の礎をかためるべく微力を捧げる所存でございます。よろしくご協力のほどをお願いいたします*。

佐々木 徹

(*ご不明な点は前回のニューズレター No. 120 を参照ください。)

【理事会報告】

◎ 新会長および副会長の選出

2013年度から2年任期となる本部理事候補が各支部より推薦され、理事候補内での投票の結果、次期の法人代表・新会長を関西支部選出の佐々木徹氏と内定いたしました。英文学会定款の定めるところにしたがい、佐々木氏の会長就任は2013年度全国大会前日に開催される拡大評議員会後となります。なお副会長には佐々木新会長の指名を受け、原田範行氏(関東支部選出)が就任予定です。

◎ 本部の新役職者について

2012年3月の理事会の決議にしたがい、今後は4年を1周期として、関東支部とそれ以外

の支部から交互に会長および事務局長を選出する方法について、各支部で御議論をいただき、すべての支部より早々にご賛同を得ました。この変更に伴い、各支部より1名選出となっていた理事は、関東支部のみ2名選出することもあわせて承認されております。

この方向にしたがって各支部より本部役職者候補として以下の方々を推挙していただきました。

理事候補 8名(任期2年)

竹本幸博(北海道)、箭川修(東北)、原田範行(関東)、阿部公彦(関東)、梅正行(中部)、佐々木徹(関西)、新田玲子(中国四国)、村里好俊(九州)

評議員候補 7名(任期4年)

本堂知彦(北海道)、佐々木和貴(東北)、田村斉敏(関東)、赤岩隆(中部)、小澤博(関西)、高橋渡(中国四国)、鶴飼信光(九州)

監事候補 2名(任期4年)

金子義明(東北)、巽孝之(関東)

各支部から推挙いただいた上記の候補は、英文学会定款が定める承認手続きを経た上で、新会長ともども全国大会前日の理事会・拡大評議員会後にそれぞれの役職に正式就任となります。なおそれぞれの役職者の任期は、定款の定めるところにしたがい、理事は2年(2015年度大会前日会議まで)、評議員・監事は4年(2017年度大会前日会議まで)です。

◎ 事務局長の選出方法について

事務局長は、会長の所属する支部から選出されますが、会長が関東支部以外から選出される場合には、事務局事務室が東京にある関係上、局長補佐を関東支部から選出することといたします。なお、新しい事務局の体制については以下の事務局報告に記します。

◎ 本部役職者の定年規程について

英文学会の本部役職者には定年の申し合わせがあり、すでにニューズレター等で幾度かお知らせいたしておりましたが、理事、監事、評議員のいずれも任期終了時に66歳未満でなければなりません。これを「役職者定年規程」として早急に策定し、完成し次第、学会ホームページで閲覧できるようにいたします。

◎ 第85回全国大会

第85回全国大会は、2013年5月25日(土)、26日(日)の両日、東北大学川内キャンパス(仙台市青葉区川内41)において開催されます。多数の会員のご参加を期待しております。また開催校委員、開催支部委員の皆様にはご負担をおかけいたしますが、よろしくご申し上げます。

◎ 全国大会期間中における託児室の利用について

次回大会が開催される東北大学川内キャンパスには東北大学教職員向けの「けやき保育園」があります。この施設を大会開催期間中に限り、英文学会会員の希望者にも利用していただけるようになりました。東北大学関係者のご厚意とご尽力にあらためて感謝申し上げます。現在、理事会および評議員会で「全国大会期間中における託児室開設制度」規程の完成を急いでおります。同規程は2013年3月中に学会ホームページで公開いたします。ご関心のある方は本部事務局あてお問い合わせください。

◎ 終身会員制度について

今年度より申し込みを開始した終身会員制度ですが、2013年4月1日より正式にスタートとなります。すでに10名弱のお申し込みをいただいております。「終身会員規程」は以下の通りとなっております。なお同規程は学会ホームページ「情報公開」欄より閲覧できます。ご関心のある方は本部事務局あてお問い合わせください。

- 1) 英文学会(本部支部問わず)に56歳になる年度から10年間所属している会員は、66歳になる年度に、終身会員になるため

の申請をし、かつ、3万円を支払うことで終身会員になることができる(その場合、その年度の会費を支払う必要はない)。所属が10年に満たない会員は、56歳以降の会員歴が10年に達した段階で同等の権利を得ることができる。

- 2) 終身会員は、機関誌の頒布を受け、全国大会、(すべての支部の)支部大会をはじめとする各種の研究教育活動に参加すること、全国大会、(すべての支部の)支部大会での研究発表の応募をすることができる。また、本部機関誌、会員として所属する支部の支部機関誌へ研究論文の投稿をすることができる。さらに、会員として所属する支部において、支部役員選挙の選挙権を与えられる(ただし、被選挙権は与えられない)。
- 3) 終身会員は会費を支払う必要はないが、毎年度、機関誌の送料実費として500円を支払う必要がある。2年間その支払いがない場合は、退会あつかいとなる。

[以下、過渡的措置]

- 4) 制度導入時に67歳以上となっている会員は、66歳になる年度以降に支払った本部会費と支部会費の総計が3万円をこえていれば、終身会員になるための申請をすることによって終身会員になることができる。3万円に達していない場合は、差額を支払うことによって終身会員になることができる。ただし、3万円をこえている金額について返金を求めることはできない。

◎ 「国際情報発信強化」助成金申請のためのワーキンググループ結成

英文学会は、日本学術振興会から、『英文学研究』英文号直接出版経費として研究成果公開促進費70万円程度の支給を毎年受けて参りました。このたび同促進費の名称が「国際情報発信強化」と変更され、これに応じて申請方法が大幅に変更となりました(英文ジャーナル発行というだけの要件ではもはや助成金は降りない仕組みとなっておりますが、助成金額は大幅に増額されます)。英文学会はこの資金を取得するべく、海外発信力にまつわる新たなプロジェクトの発案、学会の人的資源

の開発、ならびに具体的な申請書作成等のためのワーキンググループを理事会、評議員会、および事務局で結成いたします。

◎ 事務局開室時間の変更

すでに学会ホームページでも告知いたしておりますが、2013年1月より本部事務局事務室の開室時間が以下のように変更となりました。

《新》月曜日～木曜日週4日、11時～16時

《旧》月曜日～金曜日週5日、11時～16時

◎ 海外研究者招聘後援事業

すでにニューズレター前号および学会ホームページで告知いたしてまいりましたが、英文学会は、2011年6月1日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を開始することにいたしました。2012年度は「第10回国際ミルトン・シンポジウム」に14万円の支援金を支給いたしました。該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。応募する団体は、申請書類を電子メール添付にて事務局あてお送りください。なお同事業の応募規定ならびに採択された事業の概要・企画申請書は、学会ホームページ「海外研究者招聘後援事業」欄で閲覧できます。

◎ 会員著書案内

すでにニューズレター前号および学会ホームページで告知いたしてまいりましたが、英文学会では事務局あて会員から著書を献本いただいた場合、学会ホームページに、著書紹介を出版から2年のあいだ掲載することができるよういたしました。著書は会員独自の研究成果に限り、訳書等は対象外とさせていただきます。また著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。著書に関する情報は、

1. 著書のタイトル、目次、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概 1200字程度

です。会員の皆様、著書を出された方は、どうぞふるってこの著書案内コーナーをご利用くださるようお願いいたします。1および2

の著書情報は事務局までメールでお寄せください。すでに16冊（2013年2月時点）の会員による著書が、学会ホームページ「会員著書案内」欄に紹介されておりますので、ぜひご覧ください。

【2013年度シェイクスピア祭と総会のお知らせ】

2013年度シェイクスピア祭を、日本英文学会・日本シェイクスピア協会共催にて、下記のとおり開催します。一般公開（事前予約不要）、入場無料です。ふるってご参加ください。

日時：2013年4月27日（土）13:00～16:30

場所：学習院大学 百周年記念会館正堂

（東京都豊島区目白1-5-1）

プログラム：

13:00～ ご挨拶

13:10～ 対談

「蜷川シェイクスピアの稽古場

——対談と朗読」

松岡和子氏（演劇評論家・翻訳家）×
川口覚氏（俳優）

15:00～ 講演

「シェイクスピア劇で少年が演じる女の
'ambition」

講師：楠明子氏

（ロンドン大学 [King's College] 客員教授
／東京女子大学名誉教授）

【大会準備委員会からのお知らせ】

◎ 委員の交代

2012年9月発行のニューズレター（No. 120）でお伝えしたように、2012年8月14日をもって大和田俊之委員が辞任されました。これを受けて大会準備委員会では後任委員選出のための臨時選挙を行い、その結果、同年9月12日付けで長畑明利氏（名古屋大学）が大和田委員の後任として大会準備委員に就任いたしました。任期は2015年開催の大会終了までとなります。

◎ 研究発表応募について

第85回大会の研究発表に応募された方々は、英文学31名、アメリカ文学9名、英語学8名、英語教育2名の総勢50名でした。前年度実績である51名（英文学32名、アメリカ文学5名、英語学10名、英語教育4名）から、ほぼ横ばいで推移していることとなります。ただし、数年前までは応募者総数が70名を超えていたことを考えますと、やや寂しい数字とも言えますので、次回大会には、さまざまな領域のたくさんの会員の方々からご応募いただけますことを、期待しております。

なお、過去においては、発表当日にタイトルを変更して発表された方や、発表要旨の校正段階で大幅な修正を試みられる方がいらっしゃいました。大会準備委員会では、タイトルおよび発表要旨を含め、応募原稿に基づいて審査・銓衡を行っております。大会準備委員会より依頼・要請した場合を除き、応募後のタイトルの変更や、発表要旨の内容の変更はご遠慮いただいております。次回大会応募の際には、この点をどうぞご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

◎ 特別講演

プログラムにも記載の通り、大会2日目（5月26日〔日〕）の午後には、以下の特別講演が開催されます。

講師 野家 啓一（東北大学名誉教授）

「事実と虚構のあいだ」

司会 高田 康成（東京大学教授）

野家啓一氏は、日本を代表する歴史哲学・科学哲学の専門家であると同時に、解釈学やナラトロジーにも造詣が深く、物語論と歴史哲学を接続したお話を聞かせていただけるものと思います。フロアからのご発言も時間の許すかぎり歓迎いたしますので、どうぞふるってご参加ください。

◎ 招待発表制度

第85回大会では、前回大会と同じく、大会準備委員会が過去の実績等を審査して選んだ招待発表講師7名にも発表をしていただきま

す。この制度が大会の活性化につながることを願っています。

◎ ハンドアウトのホームページ掲載

学会ホームページ（<http://www.elsj.org>）に、シンポジウムや研究発表の発表者からお送りいただいたハンドアウトを掲載いたします。掲載を希望する発表者は、ハンドアウトのファイルを大会準備担当書記（etaikai@elsj.org）までお送りください。充実した大会にするために、大会発表者のご協力をよろしくお願い申し上げます。

◎ 紀要等展示室

第85回大会においても「紀要等展示室」を一般会員控え室（B棟1階学生談話室）に併設いたします。目的は、会員の皆さまが紀要等を交換する場を設け、会員間の交流の機会を確保することにあります。展示可能なものは、ご自分の論文の掲載された紀要、学会機関誌、雑誌等、またはその抜き刷り、および書籍などです。会員の皆さまの積極的な参加を歓迎いたします。展示ご希望の方は、当日、展示物をご準備のうえ、展示室に用意された机に、ご自分で展示ください。展示物の搬入、展示、回収は、すべてご自分の責任においてお願いいたします。展示物の紛失等に関して、大会準備委員会、学会事務局および開催校は、いっさい責任を負えません。なお、開催校への送付はどうかご遠慮ください（保管等の責任を負いかねますので）。

◎ 特別研究発表者候補の募集

大会準備委員会では特別研究発表の候補者に関するご提案を、以下の要領で公募しております。ご提案がある場合は、大会前年の8月31日までに大会準備担当書記（etaikai@elsj.org）まで、以下の所定の書類をお送りください。

〈特別研究発表の（募集）要領〉

- (1) 発表時間は1時間
- (2) 資格は、海外の大学等で専任の職を持っていること
- (3) 謝礼は2万円（ただし、税金を抜けば1万6千円）。その他国内に限った交通費

(要領収書)

- (4) 司会は原則として紹介者が行う
<応募の必要書類>
(1) 候補者の略歴、主要業績リスト
(2) 発表題目および内容

採否の決定は、大会準備委員会で9月末日までに行い、決定次第ご提案者にご連絡さしあげます。

◎ 第86回大会ワークショップの応募開始

2012年9月発行のニューズレター(No. 120)でもお伝えしたように、2014年の第86回大会よりワークショップが新設されることになり、現在、応募を開始しております。

ワークショップはシンポジウムに準ずるもので、開催時間は当面、大会2日目午後の特別講演/シンポジウムの時間帯(2時間半程度)を予定しています。企画数の上限は当面3本程度とし、企画案は分野バランス等を考慮して大会準備委員会で選考します。

第86回大会分の応募締切は、2013年4月末日です。応募をご希望の方は、学会ホームページ(<http://www.elsj.org>)に掲載されている応募要領を良くお読みのうえ、同ホームページよりダウンロード可能な応募フォームその他の書類をそろえて、大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送りください。

初めての試みですので、より良いかたちを柔軟に模索しながら継続していきたいと考えています。会員の皆様のご協力をお願いします。

【編集委員会からのお知らせ】

◎ 投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各一冊という刊行形態となっており、和文号、英文号それぞれに投稿の締切が設定されております。昨年9月の英文号の締切までには、24本の英文論文が寄せられ、うち4本が採用されました。本年4月1日投稿締切の和文号にも、多数の投稿があることを願っています。なお前回のニューズレターで告知いたしましたように、昨年10月20日付で、投稿論文の分量制限に関わる規定が変更され

ております。投稿される方は、学会ホームページ(<http://www.elsj.org/>)、あるいは『英文学研究』第89巻(和文号)でご確認ください。

◎ 優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』(和文号、英文号)に掲載された論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。昨年9月締切の英文号では小川浩氏(昭和女子大学特任教授)の‘Ælfric’s Shifting Mode of Speech: Postscript on *Wite Ge* in the Peter and Paul Homily’が選ばれました。賞金5万円が授与されます。

◎ 第36回新人賞論文募集

4月30日締切で、第36回新人賞論文を募集しています。第34回より佳作にも賞金5万円が授与されるようになりました。斬新なアイデアをお持ちの若手研究者の方々にはふってご応募いただければ幸いです。若々しく野心的な論考を期待しております。なお昨年一般論文の投稿規程が変更されたことに伴い、新人賞応募論文の分量制限も変更されております。応募される方は、上記学会ホームページ、あるいは『英文学研究』第89巻(和文号)で応募要領をご確認ください。

◎ 委員の交代

3月末日をもって、新井英永、久野陽一、前沢浩子、一ノ瀬和夫、渡辺克昭、小川芳樹、谷口一美、William Snellの各氏が任期満了によりご退任となります。長い間ありがとうございました。

任期満了でご退任される委員の後任には、野田学(明治大学)、服部典之(大阪大学)、松本朗(上智大学)、貴志雅之(大阪大学)、竹本憲昭(奈良女子大学)、大森文子(大阪大学)、島越郎(東北大学)、鈴木敬了(大東文化大学)の8氏が選ばれました。任期は4月1日からの3年です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【本部事務局からお願い・ご報告】

◎ 会費納入と刊行物発送について

会費(一般会員8000円、学生会員5000円、

協賛会員 10000 円) を滞納しても、ただちに会員資格を失うことにはなりません。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2 年間は引き続き刊行物をお送りいたします。2 年度分の会費の納入がなかった場合、翌年 3 月末をもって除名となり、未納分は債務として請求されますのでご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、事務局までご確認ください。重複して会費が支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、郵便局(ゆうちょ銀行)に口座を開設する必要がありますが、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。手続きは、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけです。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。メールや電話でご連絡をいただければ、速やかに自動払込み停止の手続きをいたします。まだ利用されていない皆様は、ぜひともご検討ください。

◎ 全国大会の受付業務について

全国大会当日の受付業務は、以下の時間と内容となります。なお、2008 年度より、会費の納入をあつかうことを廃止しております。さまざまなトラブルを未然に防ぎ、会員の皆さまに大会プログラムに専念していただくための方策ですので、ご理解のほどをお願い申し上げます。

※受付時間：5 月 25 日(土) 12:00～16:00
5 月 26 日(日) 9:30～11:30

1) 当日会員の受付

非会員の方々でも、当日会員費 1000 円をお支払いいただければ、『大会資料』を受け取り、すべてのプログラムに参加できます(ただし、懇親会は、正規会員を優先した上で、余裕がある場合に限り参加可能です)。なお、後日、一般会員もしくは学生会員として正規にご入会いただく場合には、当日会費の領収書がある旨を、領収番号とともに入会申込書にご

記入いただければ、当該年度会費から支払い済みの 1000 円を差し引かせていただきます。

2) 郵便局自動払込み領収書の発行

郵便局自動払込みに登録されている方には、受付にて領収書をお渡しする準備をしております。領収書の発行をご希望の場合には、郵送費の経費削減のためにも、ぜひ受付にお立ち寄りください。

3) 変更届の受付

ご住所やご所属等に変更がある場合は、変更届をご提出ください。

4) 出張証明書の発行

ご所属の大学で公費出張をなさる場合の出張証明書を発行いたします。ご入用の方は受付にてお申し付けください。

◎ 入会・退会の手続きについて

入会・退会の手続きにつきましては、学会ホームページにて詳しくお知らせしておりますが、あらためて下記にご案内いたします。

《新規入会の手続き》

新規にご入会いただく場合には、本部事務局へご連絡ください。(1) ウェブ入会フォームの利用、(2) 電子メールによるお申し込み、(3) ファックスや郵送によるお申し込みの 3 つの方法があります。

- 1) ウェブ入会フォーム: 学会ホームページ上のウェブ入会フォームのページから、必要事項を記入の上、お申し込み内容を送信してください。
- 2) 電子メールによるお申し込み: 学会ホームページ上の電子メールによる入会申込みのページをご参照いただき、そこに用意されている「申込書」の書式をご利用ください。
- 3) ファックスや郵送によるお申し込み: 学会ホームページ上のファックスや郵送による入会申込みのページをご参照いただき、そこに用意されている「申込書」の書式をご利用ください。

また、お申し込み内容に応じて、事務局より、郵便振替用紙もしくは郵便局自動払込利用申込書のいずれかが、ご指定いただいた住

所に送付されます。郵便振替用紙をお送りいただいた場合には、会費をお振り込みいただいた時点で入会とし、また、郵便局自動払込利用申込書をお送りいただいた場合には、これを学会事務局宛にご返送いただいた到着日をもって入会としてあつかいます。研究発表への応募や論文の投稿などの資格も、これに準じて発生することになります。

《退会届》

会員は退会するときは、退会届を提出しなければなりません。また、2年間にわたって会費を滞納した場合は、会員の資格を失うこととなります。逆にいえば、会費を納めなくても2年間は会員というあつかいになり、当学会の学術誌や刊行物の送付を継続いたします。2年間にわたって会費の滞納を続け、退会となった場合、未納分の会費は会員側の債務となり、その債務分を請求させていただくこととなります。退会のご意思をお持ちの場合には、速やかに、ウェブ連絡フォームやメール等で事務局までご連絡いただき、どの年度をもって退会とするかをご指示ください。なお、本部のみ、支部のみを退会することはできません。詳細は学会ホームページ「退会の届け出」欄で閲覧することができます。

◎ 学生会員の皆様へ

学生会員の皆様には事務局から次の二つのことをお願いしております。

- 1) 毎年度4月末日までに学生証の写しを送付すること
- 2) 郵便局自動払込みの申込みをすること
すでに学生会員となっており、引き続き2013年度も学生会員の身分を継続希望の方は、4月末日までに、2013年度有効の学生証の写しを、メール添付PDFファイル、あるいはファックスにて、事務局あてお送りください。確認のうえ、2013年5月中旬に学生会員としての年会費を引き落とします（郵便貯金残高をご確認ください）。なお、上記二つの条件を満たさない場合、一般会員に身分変更するなどの措置をとらせていただくこととなりますので、ご注意ください。

また、身分に何らかの変更が生じた場合や、留学等で長期間海外に出られる場合などには、事務局までその旨ご一報ください。

◎ 各種変更に関するお願い

氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属、身分、所属支部などに変更が生じた場合には、お手数ですが、事務局まで速やかにご連絡ください。とりわけ、氏名と住所の変更は、会費の引き落としや刊行物の配送に支障をきたしますので、お早めにお知らせください。

◎ 夏休み中の事務連絡について

学会事務局は、7月28日より8月31日まで基本的に夏休みとさせていただきます。この間の学会へのご連絡は、郵便、ファックス、電子メールにて受け付けておりますが、ご回答までに日数がかかることもあります。予めご了承ください。

◎ 次回のニューズレターについて

今回のニューズレターは、2013年9月中旬刊行予定の『支部大会資料統合版』の巻末に掲載される予定です。なお、それまでの間に公開すべき情報は、随時、学会ホームページにて告知いたします。

◎ 次期事務局構成

2013年度事務局員は下記のメンバーで構成いたします。ただし、全国大会終了後の5月末までは現事務局が「主」、新事務局が「副」として業務に当たります。6月1日以降は、全面的に新事務局に移行します。

事務局長	廣田篤彦（京都大学）異動
事務局長補佐	松本靖彦（東京理科大学）
会計担当補佐	北川依子（東京工業大学）
編集担当書記	田中裕介（青山学院大学） 留任
大会準備書記	瀬名波栄潤（北海道大学）
学会ウェブ担当	山本洋平（戸板女子短期大学）

新事務局は佐々木新会長のもと、英文学会全国7支部連合体制を完全に軌道に乗せるべく奮闘してまいります。事務局は、英文学会

が会員の皆さまの優れた研究・教育の成果を
発表することのできる場であり続けることを
切に願っております。今後とも、会員の皆さ
まのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げ
ます。なお、現事務局にこれまで賜りました
多大なるご支援にこの場をお借りして厚く御

礼申し上げます。

日本英文学会事務局
後藤和彦・廣田篤彦・猪熊恵子・田中裕介・
岩田美喜・倉林秀男